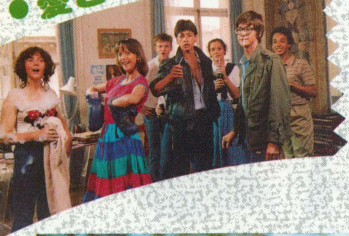
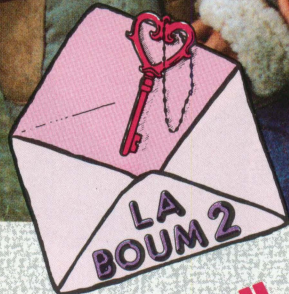


●愛と涙の感激篇!



恋風子ウソ
ほろ刺されたア
ソフアーク

子供達から親へ
親から子供達へ贈る
愛のフィーリング・メッセージ!!



ラブブム2

ソフィー・マルソー主演

クロード・ブラスール◆ブリジット・フォッセー◆デニス・クレイ◆ビエール・コーソー
製作 アラン・ボブレ◆監督 クロード・ピントー◆脚本 タニエル・トリアノ/クロード・ピントー◆撮影 エドモンド・セシヤン
原作 ヘルバルト文庫◆松竹・富士映画共同配給

♪主題歌“恋する瞳”歌:クック・ダブックス(サンラ盤 東芝EMI(イーストワールド))



パパ、ママ、怒らないで
二人で一緒にいてシアワセだったの
でも信じて、まだなのよ……

ラブム2

ストーリー

あれから2年。今、15才のビック（ソフィー・マルソー）は田園風景の美しいバイエルンで夏の休暇中だ。でも人里離れた田舎の刺激に乏しい毎日は、若くはちきれんばかりの彼女にはウンザリするばかり。折からザルツブルグのフェスティバルを見学に来ていたひいおばあちゃんのプロバットの誘いによって、一足早くパリへ帰ることになった。ザルツブルグからパリへの車中、ひよんなことからフィリップ（ピエール・コーソー）という長身でブロード、笑顔からこぼれる真白い歯が爽やかな17才の青年と出会う。何となくお互い気になりつつも、ビックはひさかたぶりにパリの土を踏んだ。駅

では田フランソワーズと10カ月になる弟のルカが出迎えた。父フランソワは最近、博士号を取るための学位論文に夢中で研究室に入りひたりらしい。我が家へ戻ったビックは早速親友のベネロブに会いオシャベリに花をさかせる。話題はモチ、男の子のことだ。ところがその最中、大変な事に気づく。ザルツブルグからの列車の中で、例の男の子とパスポートをとり違えたりしい。

翌日、パスポートの住所を頼りにベネロブと共にフィリップの家を訪れたビックを、彼は驚きと喜びをもって迎えた。あの日以来、彼女のおもかけを忘れられないフィリップだった。しかしやっかいなことに、ベネロブも彼に一目惚れしてしまう。

新学期が始まった。活気のある毎日。仲間たちとのスナックでのオシャベリ。その頃、ベネロブは一人でフィリップをボクシングの練習場にたずねていた。しかし逆にビックの電話番号を聞かれ、彼のビックへの想いを知らされてショックを受ける。突然フィリップから電話をもらい、ロック・コンサートに誘われたビックは胸をおどらせたものの、ベネロブのことを考えると少々複雑だ。が、常に良き人生の大先輩プロバットは「そんなこと気にするのはバカよ」と励ます。

コンサートの夜。熱狂的な拍手と歓声の中でフィリップはそっとビックの手を握った。新しい恋の始まりの予感が2人の体を電流のように貫いた。終バスの中でも若い恋人達は抱き合ったまま、見つめ合い、唇を重ね、時のたつのも忘れて語り合うのだった。——そして……



さらに「悩み」大きく
愛と涙の感激篇！

再登場

83年、ニュー・アイドル
ソフィー・マルソー

“愛のファンタジー”につく
ビッグ・ヒット確実！！

「ラ・ブーム2」主題歌

“恋する瞳”（歌：クック・ダ・ブックス）

〈サントラ盤東芝EMIイーストワールド〉

LA BOUM 2

解 説

‘81年2月、パリで公開されるや興収1000万ドル、動員330万人という爆発的大ヒットを記録し、フランス中のマスコミに“社会現象”とまで言われた『ラ・ブーム』。日本でも‘82年3月に公開され、主演のソフィー・マルソーの来日や主題歌「愛のファンタジー」の大ヒットで大いに話題をまいたこの作品のパート2がいよいよ日本にやってきました。

前作から2年。より魅力的に女っぽく成長した15才のビックは今や青春真盛り。マチューとの初恋以来、好きになった男の子は何人かいたけれど、身も心もひとつとなるような本当の恋はまだ。そんな時、旅先で出会った青年フィリップとの偶然の再会が彼女の恋に火をつけた。本物の、そしてちょっぴり大人の恋に近づいていく中で、両親との対立、SEXの悩み、嫉妬と誤解という恋のエッセンスを体験しながら、やがて真実の愛への一歩を踏みだしていくビックを中心に、歯科医の父と漫画家の母がお互いの仕事ゆえにすれちがいながらも愛の絆を深めていくと努力する姿、ビックの良き相談相手で翔んでる女のプロバットおばあちゃんの長年の愛人との結婚等人生の様々な出来事を優しい思いやりをこめて描いた、前作をしのぐ感動の人間ドラマです。

